

- ‘やってみたいこと’ができる環境を用意し、実践させることで自発的で責任感を持った動きを身につけさせる
- 方向性や未来を提示してくことで実りある現在(目の前の仕事)をっ！

(農)まがのしまの概要

【設立】平成23年3月

【代表者】佐山 修一

【売上】8,000万円

【事業内容】米、麦、大豆、ニラの生産、販売

【経営面積】米53ha、麦30ha、大豆6ha、ニラ75a

【主要取引先】JALもつけ、マルシェいわふね

【従業員数】正社員5人、パート3人

【所在地】栃木市岩舟町曲ヶ島183-1

【ホームページ】farm-6395.business.site/

個性や適性に応じた人材育成

【研修内容】

- ・米麦部門全般の作業を経験し、基礎知識や1年の流れなどを把握させる。
- ・ニラ部門は播種から収穫、出荷まですべてを自分で行わせ責任を持たせる。(サポート体制は整えた)

【特長的な取組】

- ・作業の段取りを組む場から立ち会わせることで作業の背景まで理解させ、自ら考え動けるようにした。
- ・ニラにおいては水稻の育苗ハウスを活用し、本人名義ですべての作業を任せ、通帳管理までさせた。
→当初は米麦とニラとの作業分担に戸惑う面もみられたが、徐々に効率よく動けるようになり1年目から安定した出荷、売上につながった。
- ・農産物検査員の資格取得研修及び検査機関の新規登録
→検査機関の立ち上げは関係機関との交渉など時間を要し、苦勞していたがすべてを自分で行い、国、県とのパイプもでき当社の知名度向上にも貢献した。
また、生産から販売まで一貫して行えるようになったことで米の輸出や飼料米の直接取引ができた。

農の雇用研修生OBとして

農の雇用事業でのOJT(1年)を通じて、基礎的な知識や農業を取り巻く状況などを勉強出来ました。また、農業会議が主催する勉強会の講師の先生にも気軽に質問が出来たことで、日頃、畑では得ることの出来ない知識も身に付きました。その後も農業関係の研修会等へも積極的に参加し視野を広げることが出来たとともに、自分と同じような仲間との出会いもありました。

「お給料をもらいながら農業ができる」という環境は、今後、新規就農を志す方へ今後の農業界の継続的な発展の為に重要なことです。今後も農業を通じて地域や社会との繋がりを増やし、農業法人だからこそ提供出来る価値を今後も新しい仲間とともに探していきたいと思えます。

